

エンパワーするNGO



大阪YWCA

5
2021

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。



森喜朗元首相の「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」というオリンピック組織委員会での女性蔑視発言は、世界中に日本の実態を晒しました。3月31日に発表された我が国のジエンダーギャップ指数2021は、156か国中120位、主要7か国で引き続き最下位です。原因は政治分野が147位と著しく低いことです。さて、みなさんの地域の議会に女性議員が何人いるでしょうか。

女性の政治参画の重要性

ー現場の視点からー

武井 多佳子

るものとする」と、目標が掲げられました。この推進役を担ったのが、赤松良子元文部大臣を代表とする「クオータ制を推進する会」(Qの会)でした。私も院内集会で愛媛の「議会に女性をおくる会」の活動を紹介し、クオータ制の成立を求めました。

推進法の施行後、初の統一選挙だった愛媛県議会議員選挙で、私を含む5人の女性県議が誕生しました。感慨深いものでした。ところが、2019年12月、選択的夫婦別姓制度の導入を求める請願を審議する委員会において、自民党男性県議が「安易な制度導入は犯罪が増えるのではないか」と発言し、物議をかもしました。直ちに私は発言の取り消しを求めました。県内では、2019年10月、女性議員たった2人の上島町議会で、「やかましい、女が」という女性蔑視発言があり、抗議しました。まだまだ議会は男性中心社会、特に女性一人

議会はその傾向が顕著です。私は、2002年から松山市議会議員として、2017年から愛媛県議会議員として、バックラッシュにさらされながら(この話をすると長くなるので省略)、男女平等政策を訴えています。今、性

犯罪に関する刑法改正を求めて、全国でフラワーデモが広がっているように、ジェンダー平等に向けて制度を変えようという気運は高まっています。さらに「個人的なことは政治的なこと」という認識を広めていきたいと思っています。

同時に、女性登用をスピードアップしなければなりません。『202030』目標は達成せず、『第5次男女共同参画基本計画』では、「2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める割合が30%になるよう目指す」と後退しました。女性、障がい者などマイノリティが排除された意思決定は民主的とは言えないのだと訴え、さらにポジティブアクションを求めていきたいと思っています。

※「202030」とは、社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標のことです。

武井 多佳子(たけい たかこ)
1960年生まれ
総合病院、訪問看護ステーションで
看護に従事、生協の理事、議会に女性をおくる会代表を経て2002年、2017年松山市議会議員、
2017年愛媛県議会議員、
松山YWCA会員、全国フェミニスト
議員連盟会員

~since 1970~

「核」否定の思想に立つて半世紀

ところで、「生活の質」って、 変えようとしてます???

平和環境部委員会は2月6日(土)、雀部真理^{ささべ}会員をゲストに学習会『田舎暮らしの環境^{エコ}断~キリスト教と“気候の正義”をつらつらと』を開催した。兵庫県北部・出石町で無農薬有機野菜を作りニワトリを飼う半農半X^{エックス}の暮らしをする中で見えてきたことが、多くの画像を交えて紹介された。そこで語られたこと・語られなかったことを合わせ、紙面でお届けする。



野菜作りは土づくり。
落ち葉と生ごみと鶏糞で堆肥を作る

日本YWCAは、1970年の全国総会で「核」否定を決議しました。このカッコつきの「核」は、核兵器も原子力発電も含む「核」、人間には制御不可能で地球を破壊に導き得る巨大なエネルギーであり、現代文明の象徴としての「核」。「核」といのは共存できない。それは、核エネルギーに頼らずに生きる生活の実践も内包する決議でした。だから、その後十数年の日本YWCA総会では、「生活の質を問い直す」という文言が「全国運動の課題」として掲げられていたのです。便利に速く…と効率ばかりを追究すると、身の周りに電化製品が増え、消費電力も増加の一途。そんな暮らしをしながら原発止めようなんて矛盾しませんか?という話です。



エコライフ指南の寸劇。
「買い物行くならエコバッグを持って」

日本YWCAの強調点の文言が「核」否定の思想に立つた1985年、「生活の質」という言葉が表舞台から消えました。「全国運動の課題」を列挙するというスタイルを変えるに際し、「思想から行動に」と謳うことで生活を顧みるポイントを残そうとしたのでしたが、結果としてその後のYWCA運動の中で、「原発反対を言うなら、自分の生活も変えようよ」という迫りが退いてしまった気がしてなりません。

気候の正義

私は、1980年代後半に世界YWCA機関誌翻訳を通して地球温暖化問題に出会い、その後南太平洋に身を置く中で、海面上昇に伴う危機に瀕

するキリバスやトゥバルの人々に出会いました。地球温暖化は不正義の問題です。地球温暖化の原因を作る先進工業国と被害を先に受ける人々との間の不正義。今原因を作る私たちと後に影響に苦しむ世代の間の不正義。どちらをとつても、「奪うなかれ」「殺すなかれ」の問題です。…ということ、30年近く発信していますが、ちつとも聴いてもらえてない気がするんですよ。

地元・豊岡市での環境活動

2002年に兵庫県北部の出石町に移住した直後より、兵庫県地球温暖化防止活動推進員になり、地元のおばちゃん仲間と『温暖化防止出石』というグループを作り、小学校5年生クラスへの出前授業を中心に活動しています。なぜ温暖化が進むかのメカニズムと共に、どう生活を変えたいかのヒント満載の劇や紙芝居やゴミ分別ゲームなど、盛りだくさんの内容です。

☆ちよつとでも…

「自分だけやってもムダ」と考えず、一人ひとりが「ちよつとでも」と行動を変えようという積み重ね。

☆もつたない…

使えるものを棄てるのは「もつたない」、ものをもらったなら「もつたない」と感謝する。この心の文化を大切に。

☆はちがあたる…

目に見えない力への畏敬の念と謙虚な心が、環境に負荷を与える行動のブレーキ役になります。

☆つなぐ…

個人やグループでは難しくても、他者とのつながりで成果が大きくなることもあります。

☆心地よい…

「もつたない」「ちよつとでも」の行動が、つながりを生み、楽しさや心地よさをもたらします。

☆自信・誇り…

環境負荷の少ない暮らしはカッコいい!子どもたちにもそういう価値観を伝えたいものです。

(会員 雀部 真理)



経年劣化

楽しい話ではないのですが、首の回りにイボがたくさんできて、イボ取りをするために皮膚科に通っています。今まで数十個は取ったでしょうか。でも、まだまだ:「どうして、こんなにできるのでしょうか?」と医師にたずねると、医師は「経年劣化です!」とピシヤリ。経年劣化ねえ!トホホです。

YWCA千里では、昔話などのおはなしを覚え、語ることを学び、活動しています。この前、テレビで漫才師が「コロナで休むと下手になる、かわわ」と言っていたのですが、身につまされます。例えば、1年いや1年半くらい、人前でおはなしを語っていない!こちらの方は、経年劣化ならぬ経年変化を楽しめるのか:劣化ならぬ変化(成長)を目ざしたいなあと思う日々です。

(千里子ども図書室 高田 良子)



4市Yの合同ミーティング -運営委員のパワーアップとユース育成を目指して-

京都・神戸・大阪3市 YWCAで年に一度情報交換する場として始まった3市Y交流会。2017年度(地域活動)助成金を得て、単なる交流の場ではなく、各々の課題を見つめ直して共有、解決策を検討・実践し報告し合う場となった。3市間を行き来しミーティングを持ち、時には合宿して議論と交流を深めた。2019年度からは、名古屋を加えた4市Y合同ミーティングに広がり、コロナ前は実際に往来し顔を合わせて、昨年度は今やすっかりお馴染みになった

ZOOMを使ったオンラインミーティングで、会を重ねた。課題を共に見つめ直す中で、最終的には4市Y共通の2テーマに絞り、それぞれのタスクチームに分かれて検討し、まとめの会には両チームが参加・共有する場を設けた。タスクチーム①は、「運営委員研修」とYWCAの「C:キリスト教基盤」について、タスクチーム②は、YWCAの「Y:ユースの育成」について、大阪Yとしては、タスク

チーム①は、2020年度夏に、「キリスト教基盤について」と「財務諸表の見方」2つの運営委員会研修を開催した。また、大阪YWCAとして大切にしたいキリスト教基盤7項目を、運営委員会で上げて定期会員集会でも報告を行った。タスクチーム②は、次の世界YWCA総会へユース2名を派遣する!という目標を掲げて、今総会期努力を続けることになった。

日本YWCAの助成期間は終了したが、年に1度は交流を続けたい、何か共にしたい、との声が上がっており、4市YWCAの今後の協働に乞うご期待。

(会員 津戸 真弓)



「東北に思いを馳せる集い」に込めた思い

震災直後、よく「絆」という言葉を耳にした。しかし、いつ頃からだろう、「絆」に「復興」という言葉が取ってかわったのは。

が、マスクをして懸命に歌う「花は咲く」が胸に刺さった。人が誰かを想い、心を込めて歌う時、その歌には特別な力が宿るのだろう。

町が整備され、外観が変わっても、それで復興したとは思わない。大切な人、仕事、故郷を失った人々の悲しみに思いを馳せたい。決して忘れない。「東北に思いを馳せる集い」には、毎回そんな思いを込めてきた。9回目の今年は、毎年福島遠征コンサートが続いている大阪大学アカペラ部「うたゆい」の11名をゲストにお迎えし、「わいわいステイプログラム」のためのチャリティーコンサートをオンライン配信した。「うたゆい」

この日、上映した「わいわいステイプログラムスライドショー」には、福島の子ども達の笑顔がいっぱいだった。震災から10年、彼らの多くが「うたゆい」のメンバーとは同世代だ。原発は、アンダーコントロールなどされていない。廃炉まであと30年かかるというのが厳しい現実だ。こどもの時に震災に遭った若者と東北に思いを馳せる若者には、困難な時代を、共に逞しく生き抜いて欲しい。

(会員 西村 由紀子)



わたしのイチオシ!

クッキー作りといちご狩り



週末にクッキーを作ったり、友達とイチゴ狩りに行ったりしてとても幸せを感じている最近です。クッキーの型を収集して形が違うクッキーを作り上げるのがとても楽しいです。イチゴ狩りは寢屋川市にある農家でした。緑の葉から赤くて小さいイチゴが隠れているのを見て心が癒されます。(職員 李 セイ)

聖書の言葉

「イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。」(ヨハネ福音書20章19節)



未来へ— 安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後町ビル1階 TEL06-4964-8700

オフィスの移転・改装 / ショップの新装改装



株式会社 オフィスイテリア

国土交通大臣許可 26021号
建築士事務所(法)第 6554号

大阪オフィス 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 4-1-10
TEL: 06 (6351) 8830 (代)
TEL: 06 (6351) 8840
FAX: 06 (6351) 8840
http://www.office-interior.net

東京オフィス 〒135-0023 東京都江東区平野 3-4-1
藤和シティコーポビル101号
TEL: 03 (5875) 8315
FAX: 03 (5875) 8316

第104回

定期会員集会報告

第104回定期会員集会は、3月6日(土)「互いに励まし合い、思いを一つにし、ともに生きる平和な世界を実現しよう」(コリント信徒への手紙Ⅱ13章11節)を標語として行われた。現在の社会情勢を鑑みて、初めてのオンラインと対面での同時進行での開催となり、決議は書面をもって行われた。

出席者47名(うちオンラインでの出席14名) 書面決議153名

2020年度事業報告

社会貢献活動部門では、各部から代表が2分間報告を行った。様々な制限を伴うコロナ禍での活動ではあるが、安全に配慮し工夫を凝らしつつ、可能な活動を少しずつ再開している様子が発表された。

11月の全国会員総会で決定したビジョン・ミッション・バリューを具現化するため、各部委員会でそれを常に意識するよう提案された。社会貢献活動、事業部門ともにまだまだ制限が続くことが予想されるが、安全を第一に工夫を凝らし、事業を継続していくことを共有した。

2021年度事業計画

北京プラス25大阪チームからは、「女性の権利は人権」と高らかに宣言した北京女性会議から25年の今、若手の職員を中心とするメンバーに対する研修の成果が報告された。

(文責 編集部)

ご協力ありがとうございました
21/2/1~21/3/31 敬称略順不同

賛助費

個人

石田佐知子 笹部 真樹 八木みゆき
大西 徳子 安川実千代 岡 由紀子
小林 明 大菅 照代 向井 恭子
宮澤 玲子 竹本 良子 石井由佳子
藤田 恭子 松下 起子 木幡 敦子
河野 栄子 原口早和子

寄付

日本語本科(留学生支援)

深堀潤子 渡辺成子 村松通子
クリスマス献金

日本基督教団大阪城北教会
日本キリスト教団扇町教会
松下起子

その他

田中めぐみ

会員維持費

荒木 慧子 佐久間早苗

募金

15口 103,516円



2021年度運営委員会役員決定

- 会長 小澤 裕子
- 副会長 雀部 真理 津戸 真弓
- 書記 平井 佐津紀
- 会計 横内 いづみ

ご支援のお願い

大阪YWCA賛助員募集

大阪YWCAは1世紀以上の長きにわたり、女性のリーダーシップを養成し、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現するための人材育成に取り組んでまいりました。次の100年に向かって大阪YWCAの理念と働きに賛同し、支援して下さる「賛助員」を募集しております。

年会費：個人 1口 3,000円 5,000円 10,000円
法人 1口 10,000円

賛助員のみなさまには大阪YWCA機関紙と活動報告、及び主催行事のご案内をお送りします。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

【お問合わせ・お申込】

公益財団法人 大阪YWCA 総務部
e-mail: info@osaka.ywca.or.jp
tel: 06-6361-0838

information

状況によっては中止・延期となる可能性がございます。詳細はお問い合わせ下さい。 06-6361-0838

子どもと本をむすぶコース(全12回)

【日時】第一回・二回
5月10日(月)・24日(月) 10:00~12:00
【講師】上田 由美子
(大阪YWCA千里子ども図書室代表、翻訳家)
【受講料】一回2,500円

スキルアップ特別講座

【テーマ】かこさとし(加古里子)の
絵本~遊び・働き・考える①②
【日時】6月7日(月)・21日(月) 13:00~15:00
【講師】村川 京子(大阪人間科学大学非常勤講師)
【受講料】一回2,500円